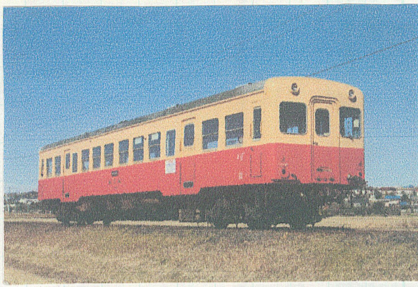


幻の小湊鉄道小湊駅 大正時代から続く鹿島とのつながり...

小湊鉄道新聞

小湊鉄道への歴史を



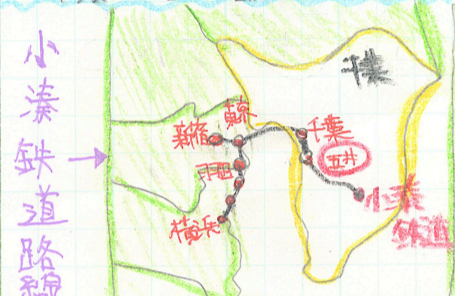
明治5年に日本初の鉄道が新橋と横浜間に敷設された。明治後期には朝鮮半島、台湾、中国大陸でも日本への鉄道が敷設され、日本への輸送が盛んになった。この時代に、鹿島半島の小湊に、東洋炭田の炭を運ぶための鉄道が建設された。これが小湊鉄道の前身である。当時は、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。

小湊鉄道線の計画

小湊鉄道は大正時代に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。

総力を挙げて受注

この小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。



小湊鉄道路線

発行日 8月17日
発行所 6年山田琴桃

里山トロッコ



縄文の時代から、この地には養老川・クヌギ・ナラなどの樹木が繁茂し、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。



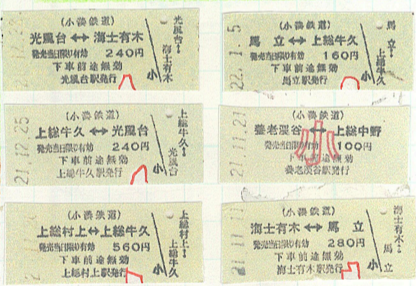
トロッコ車両

トロッコ車両は、クリーンディーゼルエンジンを搭載した現代の機関車を先頭に、窓ガラスのない開放感抜群の展望車を、窓付きの車両で挟んだ4両のトロッコが繋がった編成です。倉庫で眠っていた大正時代の汽笛を磨き、そのまま搭載。懐かしい音色を里山に響かせます。

最大寸法	8450mm×2650mm×3500mm
空車重量	25.0t
設計最高速	40 Km/h
総排気量	12780cc
連続定格出力	256 Kw/1900rpm

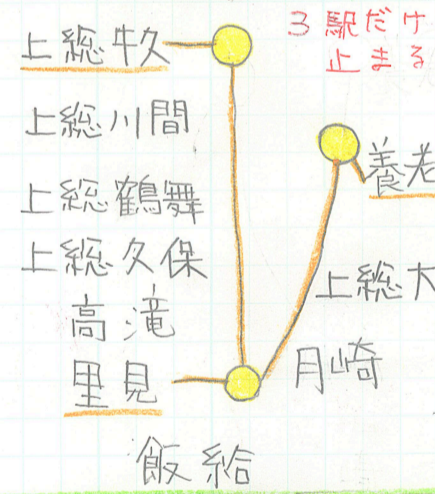
～切符の種類～

小湊鉄道の有人駅では珍しい硬券が販売されています。駅ごとにパンチ入れ、その形も駅ごとに違っていています。



このほかにも全16種類の形があります。

トロッコ列車の停車駅



小湊鉄道の歴史は、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。

小湊鉄道の歴史は、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。小湊鉄道の建設に、鹿島半島の中心地となっていた。



養老溪谷駅と名を変えて